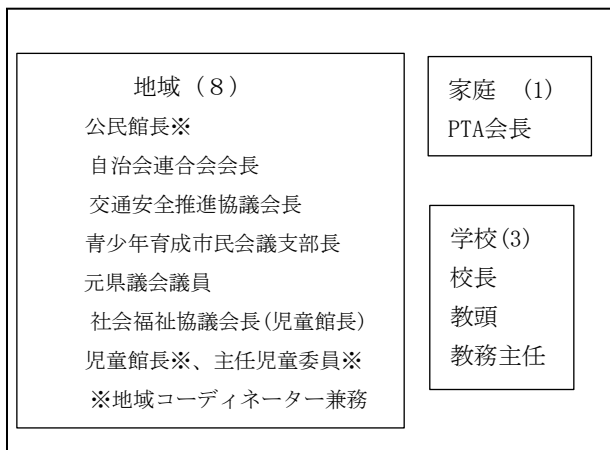


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

福井市明新小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

※開催回数 年3回
※開催日程
令和元年 6月19日(水)
令和元年 10月23日(水)
令和2年 2月21日(金)
※協議内容
・学校経営方針(スクールプラン)
・学校評価
・地域での子どもの姿

(3) 協議会における成果と課題

地域人材の活用による教育活動の充実、教育活動に関する地域・家庭への積極的な情報発信、中学校区教育の推進、子育てに関する地域・家庭・学校の連携、地域の歴史や文化を活用したキャリア教育の推進について重点的に取り組んだ。来年度は、創立50周年を迎えることもあり、より一層本校の教育活動への地域・保護者の参加を呼びかけたり、情報をホームページ・おたより等で積極的に地域・家庭に発信したりして、連携を深めていきたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

ふるさと福井市や明新地区の「モノ、ヒト、コト」に主体的に協働して関わり、そのよさを認識するとともに、愛着と誇りをもつようにする。

(2) 活動の実際

①明新地区ふれあい長寿祭ステージ発表(3～6年合唱部)

今年も、5・6年のリーダーが中心となって、長寿祭のステージ企画を行った。どんなステージにしたら高齢者の方に喜んでいただけるのか、子ども達なりに考え、明新地域コーディネーターの方と相談をしながら計画した。当日のステージでは、たくさん的高齢者を前に、いつも以上に穏やかな笑顔で歌う子ども達やとても心のこもった優しい歌声に、高齢者の方々もうなずきながら聴いたり、一緒に口ずさんでくださったりして、笑顔がたくさん見られた。演奏後にはたくさんの方から賞賛の声をいただき、児童も改めて地区の温かさや良さを感じていた。



②ポストカード作成・渡し(全校生)

児童会企画委員会が中心となり、地域コーディネーターにアドバイスをいただきながら、地区の高齢者に喜んでいただくために、ポストカードを作成した。封筒を低学年が作り、ポストカードを高学年が書いた。長寿祭で、企画委員会児童が代表で言葉を述べ、合唱部の児童とともに地

(様式3)

区のお年寄りにプレゼントした。その様子をビデオに撮り、後日校内放送した。

③福祉体験・交流（4年生）

地域コーディネーターに紹介していただき、地区の高齢者や視覚障害者の方との交流を図ったり、アイマスク体験をして視覚障害者の大変さを実感したりすることができた。また、それらの体験を通して、「みんなに優しい明新の街づくり」について、自分なりの考えを持つことができた。学習後には、「お礼をしたい」と児童から声が上がリ手紙を書いたり写真を送ったりした。

④地区ふれあい文化祭での創立50周年シンボルマーク・スローガン発表・表彰式

来年、創立50周年を迎えるにあたり、4・5年生がシンボルマークとスローガンをかいた。全校生の投票および地域コーディネーターを含めた50周年運営会議、実行委員会での話し合いで最優秀賞を決定し、地区のふれあい文化祭で発表・表彰を行った。明新地区の児童が心をこめて作ったシンボルマークやスローガンを文化祭ですべて掲示し、それを見て地域の方々からは「明新の子たちは頑張っているね。」等の賞賛の言葉をいただいた。

（3）地域コーディネーターの活動概要

地域コーディネーターに、ふれあい長寿祭や文化祭の発表内容にアドバイスをいただいたり、ゲストティーチャーを紹介していただいたりした。また、来年度の創立50周年記念事業に向け運営会議の役員としてアドバイスをいただいた。

（4）特に工夫した事項

- ・長寿祭発表では、小さい頃に経験した遊び歌は、懐かしく感じ、一緒に歌うことができるのではないかということで、福井のわらべうたを歌うことにした。また、地域コーディネーターと相談し、当日お年寄りの方にステージに出てきてもらい、「花いちもんめ」をしたり、合唱部児童がお年寄りの席に入っていき一緒に手遊びをしたりした。

（5）成果と課題

今年度は、地区の行事や福祉体験を中心とした教育活動で、豊かな体験活動を展開できた。来年度は創立50周年を迎える年でもあり、さらに、地域との交流活動を深めていき、学校が地域の核となっていくことが課題である。